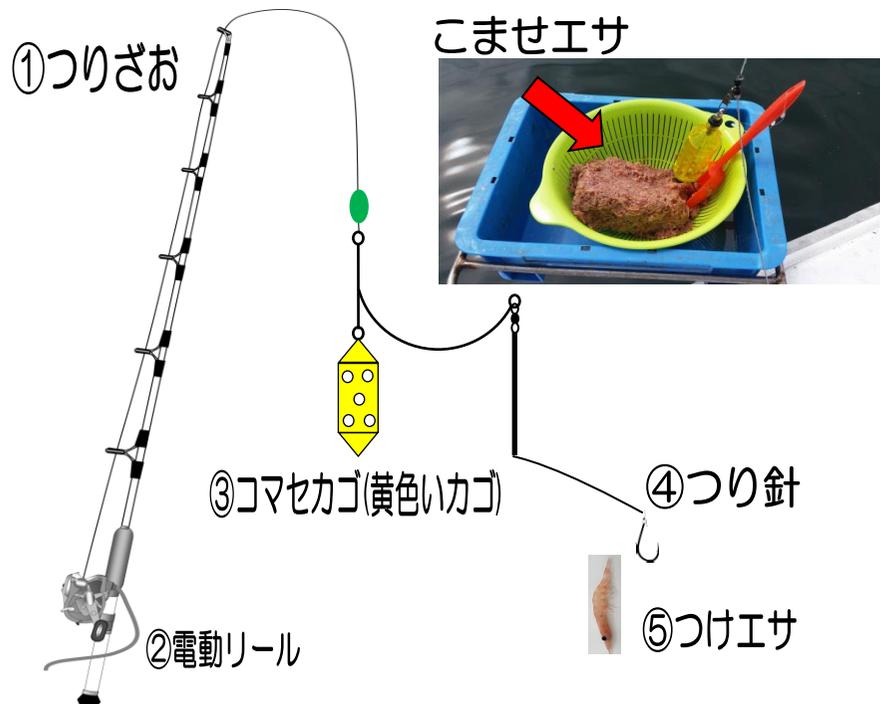


てぶらで・楽々ふねつり体験ツアー

ツアーハンドガイドブック（基本の釣り方

てぶらで・楽々ふねつり体験ツアー

レンタル道具の呼び方

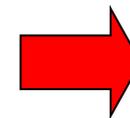


- ①つりざお・・・魚を釣るためのさおのことです。
- ②電動リール・・・糸を落としたり自動に巻いてくれる道具のことです。
- ③コマセカゴ・・・魚を寄せるためのこませエサを入れるカゴのことです。
- ④つり針・・・魚を釣るためのはりのこと。
- ⑤つけエサ・・・魚を釣るためのエサのことです。

電動リールの使う場所の呼び方



- ①クラッチ・・・黄色い印の部分を押すと糸が出ます。
- ②ハンドル・・・時計まわりで回すと糸を巻けます
- ③レバー・・・自動で糸を巻くレバーです。魚が釣れた時や、巻き上げる時に使います。青→の方向にレバーを倒します。青い印までメモリまで倒して下さい。



てぶらで・楽々ふねつり体験ツアー

釣るための エサのつけ方の説明

①エビのしっぽの先端の少し下から
針の先をさします。



②針先が入ったら、エビを矢印の方向に動かして
はりを入れて行きます。



③最後に針先を出します。
このように針にエサを
付けます！



ふねつり用語かいせつ

- ①アタリ・・・魚がエサを食べていることです。
- ②オマツリ・・・糸が絡むこと
*他の人と絡んでしまった場合は手を挙げてください。
- ③「あけて～」・・・糸を巻き上げる合図
- ④「喰ってるよ」・・・魚が釣れていることを言う

釣れるポイントとコツ！

- ①〇〇メートル・・・水深指示
*船長のマイクのアナウンスで〇〇メートルというアナウンスがありましたら、電動リールのカウンターを指示通りに合わせましょう。
- ②3～5分以上さおにあたり（反応が無い場合）は一度あげて、エサが付いてるかチェックしましょう。
- ③周りの人が釣れている時はチャンスです！自分だけ釣れない場合は、エサが無いことや水深が合っていないことが多いです。

てぶらで・楽々ふねつり体験ツアー

①釣り方手順・・・釣り方の流れ 投入



①矢印の方向に黄色いカゴをひねって開けます。



②スプーンでカゴにエサを入れます。



③矢印の方向に黄色いカゴをひねって閉じます。



④つり針につけエサを付けて、糸・針を海に投入します。



⑤黄色いカゴを海の中に入れます。



⑥電動リールの黄色い印を押し、糸を出します。液晶画面の数字が指定水深まで到達したら親指で抑え、糸が出るのを止め、ハンドルを回し、カチッと音がなったら OK です。



⑦10秒待って、竿を2回大きく上下に振ります。

②釣り方手順・・・釣り方の流れ 回収



⑧竿先がピクピクしたり、竿先が大きく下に曲がった時が、魚がエサを食べた合図になります。これをアタリと言います

⑨3～5分待ってアタリが無い場合や魚が釣れた時は、レバーを青い印まで倒して糸を巻きます。自動の巻き上げが止まったら、レバーを下まで倒し、ハンドルを回して、糸を巻きます。



⑩糸を巻き、緑の玉が水面に出たら巻くのを止めます。

⑪黒い前部分を持ち、矢印の方向に持ち上げると、黄色いカゴが水面からでます。

⑫水面に出たカゴをつかみます。



⑬黄色いカゴに入れます。

⑭手で糸・針を回収して

⑮エサを付けます。そして①に！